

かしま 議会だより



第93号

平成30年6月議会号

平成30年8月発行

発行／鹿島市議会 編集／議会だより編集委員会
〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1 TEL63-2104 FAX63-2314



鹿島ガタリンピック（平成30年5月27日）

6月定例会	p2～p3
議案審議	p4～p5
反対討論・賛成討論	p6
一般質問	P6～P10
審査報告・表彰	P11
意見書	p12
子ども議会開催の案内	p13
議会あれこれ・編集後記	p14



イメージパース



【写真上】31年2月末完成を目指し建設工事が進む市営中村住宅の工事現場(旧鹿島警察署跡地)
【写真左】市営中村住宅の完成予想図

- 平成30年 鹿島市議会
6月定例会会期日程
- 1、会期
自 平成30年6月8日
至 平成30年6月22日
- 2、日程
【6月】
8日 開会
会議録署名議員の指名
会期の決定
議案の一括上程
(市長の提案理由説明)
- 9日 休会
10日 休会
11日 休会(議案研究)
発言内容通告締切
- 12日 休会(議案研究) (正午)
13日 議案審議
質疑、討論、採決
- 14日 休会(議案整理)
15日 総務建設環境
常任委員会
文教厚生産業
常任委員会
- 16日 休会
17日 休会
18日 一般質問(3名)
19日 一般質問(3名)
20日 一般質問(3名)
21日 休会(議案整理)
22日 委員会審査報告
議案審議
質疑、討論、採決
閉会

次のことを審議し決定しました

【6月定例会】

議案番号	議案内容	杉原	片淵	樋口	中村	松田	稲富	勝屋	伊東	松本	光武	徳村	福井	松尾	角田	松尾	採決結果
		元博	清次郎	作二	和典	義太	雅和	弘貞	茂	末治	学	博紀	正	征子	一美	勝利	
議案第17号	専決処分事項の承認について(鹿島市税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数 承認
議案第18号	専決処分事項の承認について(鹿島市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	同上	賛成多数 承認
議案第19号	専決処分事項の承認について(平成29年度鹿島市一般会計補正予算(第7号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 承認
議案第20号	一般職の職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 可決
議案第21号	鹿島市税条例等の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 可決
議案第22号	鹿島市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 可決
議案第23号	鹿島市中小企業融資金の貸付けに関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 可決
議案第24号	鹿島市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 可決
議案第25号	鹿島市営住宅設置条例及び鹿島市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	同上	賛成多数 可決
議案第26号	鹿島市定住促進住宅条例(全部改正)の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 可決
議案第27号	平成30年度鹿島市一般会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	同上	賛成多数 可決
議案第28号	平成30年度鹿島市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 可決
議案第29号	佐賀県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組規約の変更に係る協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 可決
議案第30号	鹿島市公共下水道西牟田雨水ポンプ場他建設工事委託に関する協定の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 可決
議案第31号	鹿島市固定資産評価員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 同意
請願第1号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2019年度政府予算に係る意見書採択の要請について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 採択
意見書第1号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2019年度政府予算に係る意見書(案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 可決

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席 ※…(監査委員のため審議に参加できない)

議案審議

議案第23号

鹿島市中小企業融資金の貸付に関する条例の一部を改正する条例の制定



杉原 元博 議員
質問 今回の改正で、ど

の位の事業所の方が新たな融資の対象となるのか。
答弁 改正の一つに、住所要件を撤廃している。商工会議所に今まで該当しなかった事業所の方

相談がどの位あるか確認した際、年間案件程度相違があるので、その件数を見込んでいます。
財務局の調査で、金融機関からの融資態度は以前より確実に上がっている。従って、金融機関も融資拡大を図るために、融資のハードルを引き下げてきている事も要因。今回融資枠を拡げるといふ形に繋がってくる。

議案第27号

平成30年度鹿島市一般会計補正予算



角田 一美 議員

■新市民会館の建設計画と駅前開発構想について

質問一 新市民会館建設の設計の業務委託料を補

正計上しているが、着工、竣工、供用開始はいつになるのか。
答弁 30年度中に基本設計、31年度に実施設計と解体、年度末までに建設工事着手、34年3月までに竣工、34年4月から供用開始予定である。

か。
答弁 都市再生整備計画事業の中で立地適正化計画を30・31年度に策定し、32年度から駅舎、駅前開発の基本計画に着手。
アンケート、交通量調査、関係事業者からの聞き取り、提案等、住民と行政が一緒になり取り組んでいきたい。

議案第27号

平成30年度鹿島市一般会計補正予算



松尾 征子 議員

■市民交流プラザ・シャッター工事について

質問一 市民交流プラザの安全面で一番大切な三

階の防災、防火シャッターの工事費378万円。高齢者、子供達のためだから安全安心については充分確認して交流プラザが市に渡された。問題はなかったのか。
答弁 安全だった。しょっちゅう降りてくると思っていなかった。緊急のときだけと思っていたが、

二階と三・四階の営業時間が変わったのでシャッターを毎日降ろすことになり、激しく損傷したので取り替える。新しく付けるものではない。
質問二 経費はどこが出すのか。
答弁 三階部分だから市の予算で全部まかなう。

議案第27号

平成30年度鹿島市一般会計補正予算



松田 義太 議員

■部活動外部指導員について

質問 部活動指導員活用研究事業として、予算計

上されている。学校現場において、部活動指導は先生方の重い負担になっていて、外部指導員の導入等、各自自治体で取り組んでいる。しかし、先生、生徒、保護者との関わりなど、課題は多いと思う。
教育委員会として、今後、どのように取り組ん

でいくのか。現状はどうなっているのか聞きたい。
答弁 今回、東部中に2名の外部指導員を配置した。
指摘された課題等については、学校現場を見ながら、対策を講じたいと考えている。

議案第27号

平成30年度鹿島市一般会計補正予算



中村 和典 議員

■農林漁業者応援プロジェクト事業について

質問 今回の補正予算の中で、市長改選期の肉付

け予算として、新規に本事業が計上されているが、目的と目標はどのようになっているのか。
答弁 この事業は、鹿島市独自の新たな親元就業者への支援を重点的に行うことにより、農林水産業の後継者数の増加と育成を目的としている。適用年齢は、18歳以上

50歳未満で、市内に住所を有し、(別居でも可)市内において就業する者に対し、支援メニューに基づき3年間で最大150万円の支援を行うことにより、年間10人程度の担い手を確保するものがある。

議案第27号

平成30年度鹿島市一般会計補正予算



勝屋 弘貞 議員

■エコツーリズム啓発事業について

質問 エコツーリズム啓発事業のマラソン大会に

ついて詳しく聞きたい。
答弁 肥前鹿島干潟において野鳥観察だけでなく、市民の健康づくり・憩いの場として活用できるように、ジョギング・ウォーキングコースを整備するもの。コース案内・距離表示看板の設置、紹介パンフレットの作成、安全対策のための誘導ラ

イン・カーブミラーの設置等を行い、通年利用できるよう整備をする。
11月11日にリレーマラソン大会を開催予定だが、引き続き毎年できればと考える。

議案第27号

平成30年度鹿島市一般会計補正予算



稲富 雅和 議員

■ふるさと納税のポータルサイトについて

質問 ふるさと納税の返礼品は、3割を守ってい

くのは理解出来る。納税が増えると思いが助かる。そこで行政は何をしないといけないのかとなれば、受け皿を作らないといけない。10ぐらいあるポータルサイトを増やさないと生産者も助からない。鹿島をもっと見てもらうのもサイトしかない。

今年度、一つと言わずに増やさないといけないと思うがどうして一つなのか。
答弁 一つと決めているわけではない。様子を見ながら、楽天が一番効果的だと思うので選んだ。今後、増える見込みがあるサイトがあれば検討していきたい。

議案第27号

平成30年度鹿島市一般会計補正予算



伊東 茂 議員

■市民交流プラザ・シャッター整備工事について

質問 市民交流プラザ、シャッター開閉取替工事

(5基分)に378万円の補正予算が計上されている。
ピオへ公的施設移転の議案の折、老朽化施設の安全性を問うてきた。当時の部課長は自信を持って安全性は保障されると答弁を繰り返してきた。しかし、移転後、設備補修のために幾度となく

補修・点検工事を繰り返す現状に、到底市民は納得しない。今後も修理は続くのか。
答弁 専門店との営業時間の違いでシャッターの使用頻度が増えた。安全装置の老朽化による取替工事である。
今後点検は毎年行い、不具合があれば修理する。

討論

反対討論

松尾 征子 議員

市民交流プラザ、シャッター開閉装置等取替工事五基分378万円は、3階の防災防火のためのシャッターの取り替えという。

交流プラザが作られる時は安全、安心にして市に渡されるということだった。

しかし、この一番大事なことを今までそのままにしていたこと、「緊急の時しか降りてこないと思っていた」という。事故があったら誰が責任を取るのか。

さらに、スポーツ合宿にかかる803万4千円、学校に補助金を出すだけでも問題なのに、臨時職員を雇ったり、送迎までやって取り組むことは許せない。市民も納得いくものではない。

賛成討論

福井 正 議員

6億円強の肉付予算だが、産業、農業、教育等すばらしい予算編成となっている。この予算を通して市で市の未来が見えてくる。



議案第27号 平成30年度鹿島市一般会計補正予算(第1号)について

6月定例会の議場での採決の様子(市役所がネット配信している動画から転載)

一般質問

一般質問

樋口市政2期8年の成果と3期目の課題



稲富 雅和 議員

質問一 これまでの2期8年の実績・成果を踏まえ、これからの3期目の市政運営の基本的な考え方、課題は。

答弁 8年間は早くも充実していた。7つの顔があり8つの色があると説明してきた。行動の原点は、鹿島のためになるのか、ならないのかが判断基準。国・県に対外的にまちを売り込む。要請、発言を丁寧にかけていく対応をしてきた。

市民の意識も変化してきた。知名度も上がってきた。積極性が出てきた。周辺の市町を目標にするのも大事だが、目標

にもされている事柄も出てきた。就任式の時に、2期目3期目だから、変にギアを変えるところはなく、初心を忘れないでずーっと頑張ろうと言った。

と確保して欲しいが考えを聞きたい。答弁 緑化管理はしているので、防災環境を意識しながら年間計画に挙げて対応していきたい。

市民に身近な公園の再整備について

質問二 中川公園が死角ができていて、遊ぶ環境になっていない。

公園は見通しが良かったり、多少の日陰があったり、遊具の色はカラフルな色が設置されている。中心部の中川公園をもう少し広くして、遊具を充実してほしいが、まずは現状のままでもいいので遊ぶ場、環境をきちん



中川公園

介護ヘルパーの賃金の保障を



松尾 征子 議員

質問一 介護ヘルパー不足で、訪問介護事業の縮小や廃業により充分介護が受けられない高齢者や、営業の存続に不安を持つ経営者が増えてきている。

ヘルパー不足の原因と問題は。

答弁 今後、介護従事者は全国で30万人以上の人材不足が見込まれている。

全国の事業所と介護労働者の調査で、事業所からはヘルパー不足が62.6%。その理由は採用が困難23%、資格をもった人材の確保がむずかしい55.3%。

介護報酬では、人材確保定着のための十分な賃金が払えないと回答。労働者からは、人手が足り

ない、内容の割に賃金が低い等の回答。県内の調査においても、従業員不足が53.6%という。県内30ヶ所の調査で、訪問介護員不足に8割の事業所が不安を感じている。

採用が困難なのは、イメージが悪いということ。夜勤や給与水準の問題でやめていく。国でも離職者ゼロをめざす等、介護整備に取り組んでいる。

鹿島市としても厳しいなか、情報収集に取り組んでいく。

質問二 国等の計画もあるが、それでは遅い。現状をどうするのかということ。一番の問題が仕事の内容に対して待遇問題や賃金が低いことが一番大きな問題と思う。事業所のみでの解決は困難だと思ふ。

問題解決のためには行政が指導することと、国・県にも働きかけ、早急に解決を図ること。

答弁 人材不足は待ったなしの重要問題として、国県市でも位置づけられている。関係機関と連携を取りながら、市内の情報も集めながら早急に解決するよう努める。



杵藤介護保険事務所

一般質問

鹿島市の地方創生(鹿島創生)の今後の取り組み、人口減少に対処する施策は



福井 正 議員

鹿島市の人口は、日本創生会議の予測で平成32年に2万7千881人であったが、平成29年4月と30年4月を比較し423人減少しており、予測より減り方が少ないのかと思うが、減少傾向である。人口減少に歯止めをかける施策は。

質問一 鹿島市から転出を防ぎ、若者が定住するには、まず仕事があることと思う。そのためには、企業の誘致が必要だと思ふ。谷田工業団地は川島金属(株)が進出され、現在工場を建設中である。鹿島市には、工業団地の空きがなくなり企業誘致ができない。新工業団地の整備に取り組むべきと思ふ。



工業団地に進出した企業

答弁 新工業団地整備の考えはあり、数か所の候補地を選定し検討している。しかし、工業団地は用地取得と造成に多額の費用を要し、塩漬けの心配もあるが、用地がないと企業誘致の議論すらできない。まだ絞りきっていないが、必要性は考えていて、今後の市民会館建設予算との兼ね合い等を考慮して決めたい。

質問二 5月18日に東京有楽町の「ふるさと回帰支援センター」で研修した。移住傾向として、20代から40代までの方のI

ターン希望者が多く、センターの来訪者や問い合わせが2008年の2千475人から2017年に3万3千165人に増加している。地方への移住に関心がある方が増加していた。ただ、佐賀県への希望者は少なく、移住希望者への広報とアプローチが足りないようだ。

鹿島市としても、これからの支援センターの活用に取り組むべきと思ふが、現状はどう取り組んでいるか。

答弁 支援センター開催の移住相談会に、鹿島市も参加して連携を取っている。今後さらに努力したい。



ふるさと回帰支援センター

一般質問

近隣市町との連携について



杉原 元博 議員

質問一 今後、近隣市町の大きな変化が予想される。鹿島市の役割について市長に聞く。

答弁 周囲の環境の変化と鹿島の地形的な位置を見据え、縦(国・県)と横(近隣市町)の良好な関係を保っていかねばならない。

質問二 有明海沿岸、JR長崎本線沿いの市町(白石・太良・諫早)との連携について。

答弁 3年前から議論し勉強会を実施。国交大臣にお話をし、要望を伝えていく。近々、中間報告をまとめ提出したい。諫早市とは干拓問題も抱えていて、出向いて協議していく。

質問三 九州新幹線の建設・整備が進んでいる。

開通エリア市町との連携について。

答弁 鹿島には観光客が武雄の倍以上で、本物の資源がある。嬉野は酒蔵ツーリズムで連携、大村はポートレースチケット売場を開設。近隣市町とはwinwinの関係で、得意技を生かし相互に良好な関係を築いていく。

鹿島市の防災・減災について

質問一 市民の防災意識向上を図る意味で、市全体でもっと防災訓練に取り組むべきでは。

答弁 県の総合防災訓練への参加、土砂災害を想定した訓練等の実施。日頃から研修会や訓練を開催し、情報の積極的発信に努める。

質問二 市内の土砂災害危険箇所との状況と対策について。

答弁 県から総数536箇所との報告を受けた。ハードとソフト面の対策

を、国や県と一緒にやって市民へ周知を図っていく。

質問三 老朽化が進んでいる空き家対策は。

答弁 近年は情報提供が多く、所有者に十分対策をとるようお願いしている。

質問四 旧総合庁舎付近交差点は、自転車や歩行者も多く、見通しが悪い危険箇所。自動車との接触事故もあっている。

答弁 現地確認し、警察や地元と協議を行い、必要な路面文字の表示、飛び出し注意の看板等も設置に向けた検討を行っていく。



危険な交差点(西牟田地区)

子どもの養育環境におけるスマートフォン使用について



樋口 作一 議員

質問一 乳幼児期のスマートフォン守りの問題点は。

答弁 乳幼児期にスマホを見せたり操作させたりすると、言葉や情緒など子どもの健全な成長にゆがみを生じさせる恐れがある。日本小児科医学会でも、「スマホに子守りさせないで」というポスターを作成して、子育てについての啓発をしている。

質問二 母親の子育てアプリ使用について。

答弁 鹿島市でも母子健康手帳アプリを勧めているが、子どもの前では使わないなど使用方法を考え、子育てを優先してほしい。

質問三 スマホ使用が学力に及ぼす影響について。

て。

答弁 全国学習状況調査によると、ゲーム時間が長くなるほど成績が低下している正の相関がある。スマホの時間は、睡眠時間、学力、体力、視力、さらには脳機能やコミュニケーションも奪うといわれているので、原則持たせない、午後九時以降はしない、親が預かる等の指針を遵守してほしい。

質問四 スマホ等を使用されているブルーライトの問題点は。

答弁 視力だけでなく、睡眠障害などを引き起こし、生体リズムにひずみが生じるといわれているので、なるべく避ける必要がある。

高齢社会への対応について

質問一 危険家屋への対策について。

答弁 危険家屋は増えて



危険家屋

いるが、空き家対策特別措置法による対策計画は未作成で、撤去費用の補助率を増やす検討もしていない。

質問二 ごみステーション増設について。

答弁 できるだけ増設しない方針であるが、20世帯以上の要請があり、地理的な要因等の条件が合えば増設も可能である。

質問三 元気な高齢者への事業支援はないか。

答弁 シルバー人材センターや社会福祉協議会での支援活動はあるが、自主的な農業や商業等への支援は特に設けていない。

放課後児童クラスの現状について



徳村 博紀 議員

質問一 放課後児童クラブの規約の最後の頁に、「病気・ケガなどで仕事を休みされる時は、一旦退部をしていただきませ」とあるが、病気やケガだからこそ子供を見れないケースもあると思う。

この点はどうのように考えているのか。

答弁 その点については、他からも指摘があると思うので、見直しを検討したい。

質問二 支援員の雇用体制について、武雄市・嬉野市では主任級の方だけだが、固定給に変わったと聞いている。

鹿島市でも、支援員確保と労働条件の改善という意味でも固定給制度の導入の検討は。

一般質問

この点については、対策を考えてもらいたいと思う。

答弁 現在、4つ目の施設の整備を予定している。予算については計上済みだが、場所と支援員・補助支援員が早期に見つかるかどうかで開設日が決まる。

4つ目の施設が整備できたら、低学年の入学状況にもよるが、高学年の受け入れが可能になると思う。

質問二 選挙公約実現へ向けての考えは。

答弁 農業生産に必要な基盤施設の助成見直し、特に、可動堰の頭首工整備については、早急に関係する地元と協議を進めていく。

質問三 固定資産税のあり方の見直しについて。

この8年間で結んだ実をさらに大きく育て、市民へ還元できるように、全力を尽くす。



放課後児童クラブ

市長3期目の施政方針について



中村 和典 議員

質問一 今回の市長選挙を通して、市長は何を感じられたのか。

答弁 8年間念頭においてやってきたことは、市民憲章の志、総合計画の枠組み、国・県との縦の連携、近隣市町・関係団体との横の連携など、鹿島のためになるのか、ならないのかを判断基準としてやってきたが、そのことが間違いではなかった。

質問二 選挙公約実現へ向けての考えは。

答弁 農業生産に必要な基盤施設の助成見直し、特に、可動堰の頭首工整備については、早急に関係する地元と協議を進めていく。

質問三 固定資産税のあり方の見直しについて。

答弁 現行1・5%の税率を標準税率の1・4%に引き下げることにについては、今後検討していく。

質問四 地区公民館の設備及び備品の充実について。

答弁 鹿島祐徳ロードレース大会で、毎年約1千800人分の食材を提供している古枝公民館については、現場を調査のうえ、設備や備品の整備を行っていく。

質問五 今後4年間で、どのような「マチ」づくりを目指すのか。

答弁 鹿島に住んでよかった、鹿島に住みたいと言ってもらうように、市民の幸福度を向上させる取り組みが必要であり、次の3つが満たされるマチづくりを目指している。一、元気で活気のあるマチ。二、ふるさとを愛するマチ。



三、便利で暮らしやすいマチ。



毎年1,800人の選手・スタッフの食材を提供する鹿島祐徳ロードレース大会(写真右が接待会場)

文教厚生産業常任委員会 審査報告書

平成30年6月13日の本会議において文教厚生産業常任委員会に付託されました、請願第1号「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2019年度政府予算に係る意見書採択の要請について」は、6月15日に委員会を開催し、審査の結果、賛成全員で「採択すべきもの」と決しました。

以上、会議規則98条の規定により報告します。

総務建設環境常任委員会 審査報告書

平成30年6月13日の本会議において総務建設環境常任委員会に付託されました、「議案第25号 鹿島市営住宅設置条例及び鹿島市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について」「議案第26号 鹿島市定住促進住宅条例（全部改正）の制定について」は、6月15日に委員会を開き審査を行い、質疑答弁のち採決した結果、2議案共に原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、会議規則98条の規定により報告します。

全国市議会議長会表彰

去る5月30日、東京都で開催されました第94回全国市議会議長会定期総会において、市議会議員として15年以上職務に励んできたとして、福井正議員と徳村博紀議員が表彰されました。



表彰を受けた福井正議員(右)と徳村博紀議員(左)

地方創生対策特別委員会の委員長・副委員長が変わりました。

委員長：樋口作二議員 副委員長：杉原元博議員

鹿島・藤津地区衛生施設組合議会議員が変わりました。

新任：中村和典議員

樋口市長3期目の市政運営について



松田 義太 議員

鹿島市のまちづくりの新しい課題について

質問一 鹿島市において、5年前の平成25年の人口は3万946人であったのが、現在3万人を割り、その後2万9千591人と人口減少が加速化し、定住人口の確保は最重点の課題である。

雇用確保について、昨年9月議会で企業誘致の取り組みとして、さが創生市町工業団地整備事業の活用を提案したが、県との協議を始めたのか。

答弁 昨年の9月以降、2度、県の担当課と協議を行った。市では以前に工場団地造成の適地調査などやっており、それぞれの課題はあるが、前向

きに検討していきたいと考えている。

質問二 七浦の道の駅に干潟交流館の整備が進んでいるが、重要なのはソフト事業の充実が求められる。

観光、ラムサール事業等を強化していくためには、地元との連携は言うまでもなく、これまで関係がある佐賀大学、県の有明海振興センター、また環境学習等であれば、武雄市にある宇宙科学館との連携など検討してもらいたい。

答弁 指摘のとおり、今後、ソフト面の充実が課題であり、地元七浦地区を始め、色々な機関との連携を図り、干潟交流館の整備に努めたい。

質問三 鹿島市はこれから、市民会館建設、駅舎改築、駅前広場整備、庁舎の耐震化等、施設の維持管理経費など、大型事業が控えている。市債(借金)の増大、

基金(貯金)の減少など取り巻く状況は厳しさを増していくので、健全かつ慎重な財政運営に努めてもらいたい。

答弁 常に事業の適正・精査をかけながら、財政運営に努めたい。

質問四 安心して子育てが出来る環境作りとして、昨年12月議会で、小学生の登下校を見守る防犯ボランティアとの連携等をお願いした。

新潟で発生した誘拐事件など、子どもが被害にあう事件は、毎年1000件前後で推移している。早急な対応を検討してもらいたい。

答弁 各団体との協議は検討している。子どもたちの安全のために努力していきたい。



JR肥前鹿島駅前広場

道路問題について



勝屋 弘貞 議員

質問一 207号バイパス4車線化に伴い、井手分住宅からの接続道路3本中2本が右折禁止となり、南川交差点へ繋がる部分も鋭角に曲がって、とても不便になる。琴路神社前の馬渡・辻線との接続部分も狭いが、対応をどのように考えているか。

答弁 混雑や危険性について、完成後に地元・警察・県を交えて調査協議を行い、支障大と判断されれば、信号の時間調整や支障箇所の改修等、解決に取り組む。

地区公民館について

質問一 地区公民館は必要か。必要ならば、今後の公民館機能のあり方を

どう考えるか。

答弁 時代の変化や地区の特性に沿い、求められる役割・機能を課せられてきた。市民力や地域の教育力の向上の重要な拠点となっており、今後も必要な施設と考える。

加速的な世の中の変化により住民の価値観も変わり、新たな課題・ニーズが出てきていて、公民館機能でできるものは対応していく。

洗い出し・確認を整理していく過程においても、地域が関わることが地域力向上に繋がる。

質問二 公民館活動とコミュニティスクール制度(CS)は大きくリンクするところがあり、明倫小学校の大規模改修に合わせて放課後児童クラブの施設と併設する等、地区公民館の設置は考えられないか。

答弁 公民館が必要かどうかは、住民や区長会の話をしっかり聞かなければならない。



国道207号バイパス南川交差点付近

CSとのリンクという考えは一理あると思うし、学校運営協議会でも意見を聞いてみたい。国でも「地域学校教育本部」という考えもあり、教育委員会としても研究し、要望があればしっかりと検討する。

鹿島市子ども議会を開催します

市内の中学3年生が一日市議会議員となり、市議会の仕組みや市役所の仕事を知ること、政治や行政を身近に感じてもらい、地域づくりなどの活動意欲の醸成に繋がればと思います。

模擬市議会では質問や意見を述べてもらい、市長以下執行部から答弁がなされます。市議会と市役所は、中学生の意見や提言を真摯に聞き入れ、できるものは今後の議会や市政運営に反映することになります。因みに前回の子ども議会では「教室への空調設備設置」について取り上げられましたが、現在、各学校に順次エアコンが設置されているところです。

中学生が考えている鹿島市の課題や未来について、中学生の視点に立った質問や意見が出ることを楽しみにしています。この機会に、ふるさと鹿島を愛することの大切さを改めて感じてもらい、また、数年後に付与される選挙権へ意識の高揚に繋がればと思います。

1、開催日時
平成30年8月24日（金） 14:00～16:15（予定）

2、開催場所
鹿島市議会議場（傍聴可能）

3、主催者
鹿島市議会

4、協力団体
鹿島市、鹿島市教育委員会、鹿島市立西部中学校、鹿島市立東部中学校

5、その他
①当日は議場で傍聴できますので、市役所5階の傍聴席へご来場ください。
②ケーブルテレビでは、当日生中継、当日19時と26日9時に再放送が予定されています。

●当日スケジュール

14:00 ～ 16:15 (予定)	1,	開会のことば
	2,	議席の指定
	3,	会議録署名議員の指名
	4,	一般質問（15分×4組=60分）
	5,	提言（10分×3組=30分）
	6,	「子ども宣言」提案と採決
	7,	閉会のことば

意見書第1号

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2019年度政府予算に係る意見書

学校現場における課題が複雑化、困難化する中で、子どもたちのゆたかな学びを実現するためには、教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが不可欠です。特に小学校においては、2018年度から新学習指導要領の移行期間に入り、外国語教育実施のため授業時間数の調整など対応に苦慮する状況となっています。ゆたかな学びの実現のためには教職員定数改善は欠かせません。

特に、特別支援学級適の児童数増加、さらには一般のクラスにも支援が必要と思われる児童が在籍していて、突発的な行動の対応に担任が追われる事例が年々増えています。こうしたことを改善し、子どもたちをしっかりと育てていくためには、専門的な知識を持った教員を含む特別支援学級の計画的な教職員定数改善が必要です。

義務教育費国庫負担制度については、「三位一体改革」の中で国庫負担率が2分の1から3分の1に引き下げられました。いくつかの自治体においては、厳しい財政状況の中、独自財源による定数措置が行われていますが、国の施策として定数改善にむけた財源保障を行い、子どもたちが全国どこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請です。

子どもの学ぶ意欲、主体的な取り組みを引き出す教育の役割は重要であり、そのための条件整備が不可欠です。こうした観点から、2019年度政府予算編成において、下記事項が実現されるよう強く要請します。

記

- 1、子どもたちの教育環境改善のために、計画的な教職員定数改善を推進すること。
- 2、教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の国庫負担割合を2分の1に復元すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年6月22日

佐賀県鹿島市議会

内閣総理大臣 安倍 晋三 様
衆議院議長 大島 理森 様
参議院議長 伊達 忠一 様
総務大臣 野田 聖子 様
財務大臣 麻生 太郎 様
文部科学大臣 林 芳正 様

以上、意見書を提出する。

議会あれこれ

(平成30年4月～6月)

4月

- 3日 議会だより編集委員会
- 6日 佐賀県市議会議長会
- 10日 議会だより編集委員会
- 13日 議会だより編集委員会
- 24日 全員協議会
地方創生対策特別委員協議会
- 26日 九州市議会議長会 理事会・総会

5月

- 8日 議場開放・ICTプロジェクト委員協議会
- 9日 鹿島・藤津衛生施設組合5月臨時会
- 15日 佐賀県市議会議長会議長研修(～17日)
- 23日 全員協議会
議会運営委員会
- 28日 議場開放・ICTプロジェクト委員協議会
- 29日 臨時佐賀県市議会議長会
- 30日 全国市議会議長会総会

6月

- 6日 議会運営委員会
- 8日 6月定例会 開会 議案の上程(～22日)
全員協議会
地方創生対策特別委員会協議会
- 13日 6月定例会 議案審議 質疑、討論、採決
- 15日 文教厚生産業委員会
総務建設環境委員会
- 18日 6月定例会 一般質問(～20日)
全員協議会
- 22日 全員協議会
6月定例会
議案審議、質疑、討論、採決、閉会
全員協議会
議会報告会プロジェクト委員協議会
- 29日 議会だより編集委員会

行政視察受入状況

(平成30年4月～6月)

5月15日 富山県滑川市議会 7名

5月16日 茨城県日立市議会 10名

5月24日 静岡県三島市議会 3名

6月28日 熊本県あさぎり町議会 20名

議長交際費を公表します。

金額単位：円

区分	4月		5月		6月		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
弔慰	0	0	0	0	0	0	0	0
見舞い	0	0	0	0	0	0	0	0
祝儀	2	6,000	0	0	1	5,000	3	11,000
会費	1	4,000	3	14,000	2	7,000	6	25,000
接遇	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3	10,000	3	14,000	3	12,000	9	36,000

お詫びと訂正

平成30年4月に発行した議会だより第92号5頁の、一般質問「18歳選挙権について」の文中の「感心」は、正しくは「関心」でした。お詫びして訂正いたします。

「かしま議会だより」編集委員紹介



写真左から勝屋弘貞議員、中村和典議員、徳村博紀議員、角田一美議員

編集後記

他の市町では、原稿まで議会事務局まかせのところもあるようですが、「かしま議会だより」は、議員が中心となって作成しています。

本人が責任を持って提出した原稿を、議会閉会後の約1週間を目安に締め切り、その後編集委員会で印刷までに5回～6回ほど、誤字脱字等のチェック、校正、業者さんとの打ち合わせなどを行い、嘱託員(区長)等にご協力いただき、皆様の手元に届くこととなります。

新年度になり、編集委員が交代しました。市民の皆様に分かりやすく、手に取り読んでいただけるような議会だよりとなるように頑張っております。

【編集委員】

委員長	勝屋 弘貞
副委員長	中村 和典
委員	徳村 博紀
顧問	角田 一美

※この議会だよりは、全て原稿提出者の責任により編集されています。